授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
日常生活援助技術I	1年次	通年	1	30	有

科目責任者	小瀧亜矢子
授業概要	自己の生活を振り返り、人間にとっての環境調整や活動休息の意義を考え、患者さんにとっての安全・安楽・安心の視点を中心に考え環境調整は快適性、活動休息は自立の視点から援助を行う必要があると理解できる。
目標	1. 患者にとって安全で快適な生活環境を整えるための基本的知識を理解し、援助方法を考えることができる。 2. 環境調整の意義と看護の役割を考えることができる。 3. 患者にとって安全・安楽・自立に向けた活動・休息の援助方法を考えることができる。 4. 活動休息の意義と看護師の役割を考えることができる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	病床の環境調整のアセスメント	小瀧	講義
2	病床の生活環境　基本的なベッドメーキング	小瀧	講義
3	基本的活動の基礎知識・ボディメカニクス	小瀧	講義
4	演習	小瀧	演習
5	病床の環境調整の意義　リネン交換の方法	小瀧	講義
6	演習	小瀧	演習
7	安楽な体位、体位保持とポジショニング	小瀧	講義
8	演習	小瀧	演習
9	移動・移送の方法	小瀧	講義
10	演習	小瀧	演習
11	臥床患者のリネン交換の実際(病床環境の調整)	小瀧	演習
12	臥床患者のリネン交換の実際(病床環境の調整)	小瀧	演習
13	臥床患者のリネン交換の実際(病床環境の調整)	小瀧	演習
14	休息と睡眠の意義と促す援助	小瀧	講義・演習
15	終講試験	小瀧	

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野１　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　医学書院 看護がみえるVol.1　基礎看護技術　メディックメディア
参考書	ナーシンググラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　メディカ出版 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術　第2版　医学書院
評価方法	試験(60%) 提出物（課題・内容）演習態度（40%）この科目は基礎看護学実習１－２の履修条件である。